

<見積根拠資料の作成方法>(記載例を併せてご参照ください)

- 閲覧いただく仕様書は、「**工事区分**」「**工種**」「**種別**」の別に記載されています。
- 総合評価方式で行う入札には、「見積根拠資料」を提出する必要があります。
- 「見積根拠資料」の作成においては、「**工事区分**」を**レベル1**、「**工種**」を**レベル2**、「**種別**」を**レベル3**、とそれぞれ区分しています。
- 見積根拠資料に記載が必要な工種等  
「**工事区分**」、「**工種**」及び「**種別**」(レベル1からレベル3)で作成してください。

(例)『道路設計』 ※実際の作成にあたっては、必ず仕様書等を確認してください。

【閲覧仕様書の「設計内訳書」(部分)】

工事番号:〇〇-〇

工事名		〇〇〇〇		事業区分		工事区分	
工事区分・工種・種別		単位	数量	単価	金額	摘要	
道路設計		式	1	閲覧用仕様書にはこの欄には記載がありません		レベル1	
道路設計		式	1			レベル2	
道路予備設計		式	1			レベル3	
直接経費		式	1			レベル1	
直接経費		式	1			レベル2	
電子成果品作成費		式	1			レベル3	
直接原価(その他原価を除く)		式	1				
その他原価		式	1				
業務原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
業務価格		式	1				
消費税相当額		式	1				
設計業務費		式	1				

- ① 見積根拠資料(委託業務費内訳書)の「工事区分・工種・種別」の欄には上の表の「**レベル1**」、「**レベル2**」及び「**レベル3**」の工種等をすべて記載してください。
- ② 見積根拠資料(委託業務費内訳書)の「工事区分・工種・種別」欄に記載されている**工事区分(レベル1)**の見積金額が、その工事区分に含まれる各**工種(レベル2)**の見積金額の合計と一致していることを確認してください(一致していなければ失格となります)。
- ③ 見積根拠資料(委託業務費内訳書)の「工事区分・工種・種別」欄に記載されている**工種(レベル2)**の見積金額が、その工種に含まれる各**種別(レベル3)**の見積金額の合計と一致していることを確認してください(一致していなければ失格となります)。
- ④ 見積根拠資料(委託業務費内訳書)の「入札書又は見積書記載金額」欄に記載される金額が「入札書」に記載される額と一致していることを確認してください(一致していなければ失格となります)。
- ⑤ 記載事項が1枚の様式に収まらない場合は、適宜様式を追加して記載してください。